

保健体育科（保健分野）学習指導案

指導者 安田 拓朗

1 単元名 生涯を通じる健康

2 目標

- 生涯の各段階における健康課題への自らの適切な対応及び我が国の保健・医療制度や機関の適切な活用に関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとすることができるようになる。（関心・意欲・態度）
- 生涯の各段階における健康課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表すことができるようになる。（思考・判断）
- 生涯の各段階における健康課題の解決に役立つ自らの適切な対応及び我が国の保健・医療制度や機関の適切な活用のための基礎的な事項を理解できるようになる。（知識・理解）

3 指導に当たって（男子*名、女子*名、計*名）

本学級は、学習に意欲的であり、自ら考えて発表する生徒が多い。話合いの活動も活発であり、積極的に意見交換を行う様子が見られる。

本単元では、生涯にわたって健康を保持増進するには、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりがかかわっていることや、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが重要であること、我が国や世界では、健康課題に対応して様々な保健活動や対策などが行われていることが示されている。

本時では、「医薬品と健康」について取り上げ、調べ学習や話合い活動を通して医薬品には、医療用医薬品と一般用医薬品があること、副作用があること、承認制度により有効性や安全性が審査されていること、及び販売に規制があることを理解させたい。また、本学級に医薬品の使用法に関する事前の調査をしたところ、説明書（添付文書）の用法・用量の部分は読むが、その他は読まないという生徒が多いため、実際に説明書（添付文書）から情報を読み取る活動を通して、説明書（添付文書）から必要な情報を読み取る力を身に付けさせたい。

4 単元の評価規準

	関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none">●生涯の各段階における健康<ul style="list-style-type: none">・思春期と健康、結婚生活と健康について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。・加齢と健康について、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ●保健・医療制度及び地域の保健・医療機関<ul style="list-style-type: none">・我が国の保健・医療制度について、関連する資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。・地域の保健・医療機関の活用について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	<ul style="list-style-type: none">●生涯の各段階における健康<ul style="list-style-type: none">・思春期と健康、結婚生活と健康について、学習したことを、個人及び社会生活や事例などと比較したり、分類したり、分析したりするなどしている。また、道筋を立ててそれらを説明している。・加齢と健康について、資料等で調べたことを基に課題を見付けたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 ●保健・医療制度及び地域の保健・医療機関<ul style="list-style-type: none">・我が国の保健・医療制度について、資料等で調べたことを基に、課題を見付けたり、解決の方法を整理したりするなどして、それらを説明している。・地域の保健・医療制度の活用について、学習したことを、個人及び社会生活と比較したり、分析したり、計画を立てたりするなどしている。また、道筋を立ててそれらを説	<ul style="list-style-type: none">●生涯の各段階における健康<ul style="list-style-type: none">・生涯にわたって健康を保持増進するには、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることについて、理解したことを発言したり、記述したりしている。 ●保健・医療制度及び地域の保健・医療機関<ul style="list-style-type: none">・生涯を通じて健康の保持増進をするには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが重要であること、医薬品は、有効性や安全性が審査されており、販売には制限があること、疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であることについて、

	<p>●様々な保健活動や対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な保健活動や対策について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換をするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 	<p>明している。</p> <p>●様々な保健活動や対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な保健活動や対策について、学習したことを個人及び社会生活と比較するなどしている。また、筋道を立ててそれらを説明している。 	<p>理解したことを発言したり、記述したりしている。</p> <p>●様々な保健活動や対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国や世界では、健康課題に対応して様々な保健活動や対策などが行われていることについて、理解したことを発言したり、記述したりしている。
--	--	--	--

5 学習活動に即した評価規準

	関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
学習活動に即した評価規準	<p>① 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関についての課題解決に向けた調べ学習や話合う学習活動に意欲的に取り組もうとしている。</p>	<p>① 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、調べ学習を通して、課題を見付け、解決の方法を考えることができている。</p>	<p>① 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関の活用方法や医薬品の適切な使用方法を理解し、理解したことを発言したり、記述したりすることができている。</p>

6 学習指導計画

生涯を通じる健康 (全 11 時間扱い)

第1次 生涯の各段階における健康 (7 時間)

- ・思春期と健康
- ・性意識と性行動の選択
- ・結婚生活と健康
- ・妊娠・出産と健康
- ・家族計画と人工妊娠中絶
- ・加齢と健康
- ・高齢者のための社会的取り組み

第2次 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関 (3 時間)

- ・保健制度とその活用
- ・医療制度とその活用
- ・医薬品と健康 (本時)

第3次 様々な保健活動や対策 (1 時間)

- ・さまざまな保健活動や対策

7 本時の学習

(1) 本時のねらい

○医薬品には様々な危険性があるため、医薬品の有効性や安全性が審査されており、販売制限や承認制度があることを理解することができる。 (知識・理解)

○医薬品を安全に活用するために、どのような判断や行動が必要か考えることができる。 (思考・判断)

(2) 展開

	学習内容・活動	指導上の留意点	評価の観点、方法
はじめ 10分	<p>1 医薬品の正しい使用法を知り、自分自身の使用法に問題はないか考えさせる。</p> <p>2 事前に行った医薬品の使用法に関する調査結果から、問題点を知る。 ・説明書（添付文書）の用法・用量の部分は読むが、それ以外の部分を読まない生徒が多い。</p> <p>3 本時のねらいを確認する。</p> <p>○ 医薬品の正しい使用法や使用の際の留意点を理解し、医薬品を安全に活用していくために、どのような判断や行動が必要か考えよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書P84の図1に注目させる。 生徒に質問を投げかけ、発表を促す。 事前の調査結果から、医薬品説明書（添付文書）の用法・用量以外の部分をよく読んでいない傾向があり問題であることを伝える。 	
なか 35分	<p>4 医薬品の誤った使用法で発生した危険事例、副作用の事例について知る。</p> <p>5 医薬品には、医療用医薬品と一般用医薬品があること、販売に規制があること、承認制度があることを理解する。</p> <p>6 医薬品の説明書（添付文書）から必要な情報を読み取る。 ・5人一組のグループをつくり、協力して情報を読み取り、ワークシートに記入する。 ・読み取った情報を代表が学級全体に発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 使い方を誤れば健康被害を引き起こす危険性があること、適正な使用でも副作用のように、健康被害を引き起こす危険性があることを伝える。 説明を聞き、重要事項をワークシートに記入するよう助言する。 各グループに違う種類の医薬品説明書（添付文書）が行きわたるよう準備する。 説明書（添付文書）をよく読む大切さや、医薬品によって使用法や留意点が違うことに気付かせるよう促す。 	<p>〈知識・理解〉 医薬品には有効性や安全性が審査されており、販売規制や承認制度があることについて書きだすことができる。 (観察・ワークシート)</p>
まとめ 10分	<p>7 医薬品を安全に活用していくために、どのような判断や行動が必要か考える。</p> <p>8 授業の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本時の授業を通して得た知識を活かし、これから的生活のなかで医薬品とどのようなかかわり方をしていけばよいか考えるよう助言する。 机間巡回を通して、ワークシートの記入状況を把握し、指名して発表を促す。 	<p>〈思考・判断〉 医薬品を安全に活用するためには必要な判断や行動を考えている。 (観察・発言・ワークシート)</p>